

日立の増産要請で新工場

山下工業所・既存2工場も増築へ

英国、台湾、パナマ受注が波及

新幹線の先頭車両の複雑な流線形を熟練工のハンマーでたたき出す「打ち出し板金」の技術を誇る下松市東海岸通りの山下工業所(山)

改組した日立製作所は20年2月着工、5月操業開始▽第3工場の新築は21年4月着工、6月の高速鉄道車両に8月操業開始を予定。続いて、台湾向け特急

鉄道車両600両、パナマ共和国向けモノレール車両168両を次々に受注しており、山下工業所をはじめ市内外の企業に波及効果が期待されている。

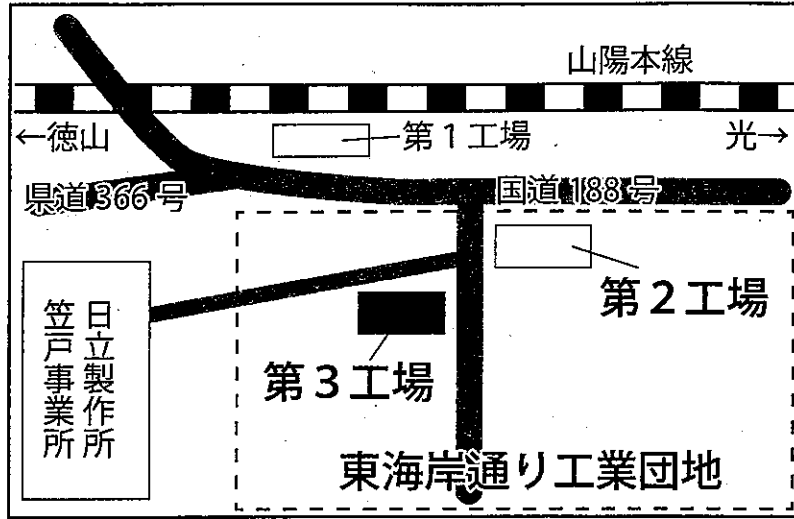
調印式には県商工労働部の内島義裕次長が立ち会い、山下社長と国井市長が協定書に調印する。

下竜登社長が業務拡大に伴って既存の2工場を増築し、第3工場を新築する。27日に市役所で工場建設協定に調印し、まず8月から第1工場の増築に取りかかる。

このたびの増設と新設は日立グループからの鉄道車両部品や半導体製造装置向けの部品の増産要請にこたえるもので、第1工場の増設は8月着工、12月操業開始▽第2工場の増設

山下工業所は1963年9月に山下社長の父の清登さんが創業して、74年に株式会社にかかると、74年に株式会社

は8月着工、12月操業開始▽第2工場の増設



山下工業所は1963年9月に山下社長の父の清登さんが創業して、74年に株式会社にかかると、74年に株式会社

は8月着工、12月操業開始▽第2工場の増設